

【水の里の旅コンテスト 2021 応募企画】

【一般部門】 応募者名：埼玉県 企画財政部 土地水政策課

【タイトル】	水源地域との交流事業		
【サブタイトル】	水源わくわくセミナー		
【都道府県名】	群馬県	【地域名】	長野原町（ハッ場ダム周辺地域）
【日程】	<input type="checkbox"/> 日帰り ・ <input checked="" type="checkbox"/> 1泊2日 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 2泊3日 ・ <input type="checkbox"/> その他（ ）		
【実施時期】	<input type="checkbox"/> 春 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 夏 ・ <input type="checkbox"/> 秋 ・ <input type="checkbox"/> 冬 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年 / （実施時期： ）		
【催行人員】	参加者 R1 実績 埼玉県：67名 （小学生等 39名保護者等 28名） 長野原町：35名 （小学生等 35名）	【お勧めする旅行者層】	小学生親子（サッカー未経験者でも可能）
【旅行代金】	30,000円（大人、子供同額） 延泊の場合（オプションツアー） +20,000円（大人、子供同額）	【代金内訳】	総額 約 2,000,000円（関係者人件費等を除く） バス代、宿泊費、昼食費、サッカー教室 延泊の場合、別途追加
【企画趣旨（伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント）】			
<p>※詳細な行程と各観光ポイントは別紙に記載。（令和元年度の実施例を参考に企画趣旨をお伝えします。）</p> <p>埼玉県では平成8年度から、県内在住の小学生とその保護者の方を対象に「水源わくわくセミナー」を開催しています。このセミナーはハッ場ダムの建設が進められていた当時から群馬県吾妻郡長野原町を訪問し、ハッ場ダムの役割や地元の皆さまの苦労などを理解していただくとともに、サッカー教室を通じて地元の小・中学生との交流を図ることを目的として、7月下旬に1泊2日で開催してきました。「水源わくわくセミナー2019 https://www.pref.saitama.lg.jp/a0108/jokaryu-koryu/01wakuwaku.html」</p> <p>県内2か所の駅（川越駅、上尾駅）に集合し、現地へそれぞれ貸し切りバスで向かいます。到着後、まずは国土交通省関東地方整備局の御協力をいただき、ハッ場ダムの見学を行いました。さっそくハッ場ダムの事業について説明を受けます。説明を受けた後、ダム本体の見学に向かいます。企画のメインとなる上下流交流会では、埼玉県のプロサッカーチーム浦和レッドダイヤモンズ（浦和レッズハートフルクラブ）によるサッカー入門教室を開催します。いずれも埼玉県の子ども達（39名）と長野原町の子ども達（35名）と合同チームで開催です。なお、浦和レッズは平成8年から長年にわたり参画していただいた功績により国土交通大臣から水資源功績者表彰を受賞しています。</p> <p>以上、埼玉県では、水の恩恵を受ける県民が水源地域を訪れ、ダム施設を見学するだけでなく、水源地域の方との交流を通じて、親睦を深めていただくことを目的として、この事業を含め「上下流交流事業」を実施していましたが、令和2年度、令和3年度については新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべての事業を中止とせざるを得ませんでした。</p> <p>令和元年度に参加された方々のアンケートでは、参加者の91%がハッ場ダムについて理解したと回答いただき、また参加者の95%が水の大切さについても理解したと回答いただいております。さらに参加者の98%がまた長野原町に来たいと回答いただくなどリピーターも生まれ、水源地域の振興の一助にもなっております。</p> <p>そのため、本コンテストを通じてより広く皆様を知っていただくとともに、今までのノウハウを広く公開することで、企画が民間会社のツアーとして実現するなど、一人でも多く水源地を訪れていただき、水の大切さや水源地域の現状、問題等の理解を高めていただければと考え応募いたしました。</p>			
【インバウンド対応のための工夫】（※任意）			
インバウンド対応は特段行っていないが、地域の取り組みがあれば連携、活用する。			
【催行実績】	<p>※当該企画が催行されている場合や、催行されている別企画を元に一部変更したものの場合は有に☑してください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有 → いつ催行されましたか：平成8年度から <small>※募集ホームページアドレス（ある場合のみ）：</small></p> <p><input type="checkbox"/> 無 → 今後の催行予定はありますか： <input type="checkbox"/> 有 → いつごろ催行予定ですか： <input type="checkbox"/> 無</p>		
【特記事項】	<p>○企画のアレンジのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症対策の観点から、現地集合、現地解散とする ・ サッカー入門教室だけでなく、サッカーチーム同士の交流、さらに野球等他のスポーツでの実施 ・ 延泊によるオプションは多数見込めるため、通年での開催も可能性もある <p>○県の関与</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年1回の開催に関して、企画、運営、募集、費用の助成、関係機関との調整等 ・ 案内は彩の国だより 6月号（埼玉県内各家庭に新聞折り込みで届ける埼玉県広報紙）、県ホームページで案内（募集人員を超えた場合は抽選） 		

【エントリーシート 別紙】

【 行 程 表 】 (1日目、2日目 : R1 実績)

<p>1日目</p>	<p>8時20分 上尾駅を出発 8時50分 川越駅を出発 11時40分 ハッ場ダム見学 (なるほど! やんば資料館) 13時45分 上下流交流会 (長野原町町民広場) 浦和レッズハートフルクラブによるサッカー入門教室 17時20分 長野原町の宿泊施設へ到着 ※空き時間で水源わくわくセミナークイズ大会の開催</p>
<p>2日目</p>	<p>8時15分 宿泊施設を出発 9時00分 上下流交流会 (長野原町町民広場) 浦和レッズハートフルクラブ「サッカー入門教室」修了証の交付 サイン会 ※保護者の方は浦和レッズ (キャプテン) の講話 12時00分 上下流交流会終了 (長野原町町民広場を出発) 12時40分 浅間火山博物館 (昼食及び見学) 17時過ぎ 川越駅・上尾駅到着</p>
<p>3日目 (オプション)</p>	<p>8時15分 宿泊施設を出発 ①まだまだ遊ぶ 長野原コース (町の新たな”アミューズメント”や地域に根ざした食や遊びを満喫) 9時~14時 道の駅ハッ場 (解散自由行動) ②湯ったり草津コース (ハッ場ダムの流域を上流に辿っていくとそこには草津温泉) 9時00分 品木ダム 見学 10時00分 湯川見学 (品木ダム水質管理所草津中和工場) 11時~13時 湯畑 (解散自由行動) 昼食 (温泉付)、周辺散策、食べ歩き (温泉まんじゅう等) で草津温泉を満喫 13時00分 湯畑出発 道の駅ハッ場で合流) 14時00分 道の駅ハッ場 (①②が合流) 出発 17時過ぎ 川越駅・上尾駅到着</p>

【主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来、土産物など）】

ポイント1

ハッ場ダム見学

【コメント】

国土交通省関東地方整備局の御協力をいただき、ハッ場ダムの見学を行いました。さっそくハッ場ダムの事業について説明を受けます。

説明を受けた後、ダム本体の見学に向かいます。



ポイント2

上下流交流会

浦和レッズのサッカー入門教室

【コメント】

浦和レッズハートフルクラブによるサッカー入門教室です。いずれも埼玉県の子も達と長野原町の子も達と合同チームで開催です。

サッカー入門教室は小学1年生と2年生の低学年グループ、小学3年生と4年生の中学年グループ、小学5年生と6年生の高学年グループに分かれて実施しました。



ポイント
3

水源わくわくクイズ大会

地域や水、サッカーなど関連する情報を基にしたクイズ大会です。長野原町と埼玉県の子供達で協力して答えを決めていきます。大人は一切ヒントを出しません。みんなで考えた答えは・・・



問題例 水関連

【問題】水の貴重さ、重要性について、関心を高め、理解を深めるため、「水の日」が設けられています。

さて、「水の日」は毎年 何月何日でしょうか。

- ①7月1日 ②8月1日 ③9月1日

【正解】②8月1日。 なお、8/1～8/7は水の週間とされています。

問題例 地域関連

【問題】川原湯温泉の発見者といわれるのは誰でしょうか

【コメント】

サッカー入門教室終了後、バスで浅間火山博物館（閉館）に移動し、昼食のお弁当を食べた後、施設を見学しました。



昼食

ポイント
4

(オプション)

①まだまだ遊ぶ長野原コース
(町の新たな”アミューズメント”や地域に根ざした食や遊びを満喫)

水や緑が豊かな長野原町だからこそできる遊びや楽しみ、そして豊かな自然からできる食も味わうことで、地域の魅力を感じていただき、より長野原町を知っていただければと思います

・ハツ場ダム周辺総合観光案内

「やんば旅ナビ」<https://www.yamba.jp/>

群馬県ハツ場ダム水源地域対策事務所運営



・水陸両用バス（ハツ場にやがてん号）

ハツ場あがつま湖やその周辺を周遊するツアー道の駅ハツ場ふるさと館から乗車可能。

・自転車型トロッコ（A-Gattan）

ダム建設により、JR 吾妻線のルートが変更

使われなくなった廃線を使用し、自転車型トロッコを運行

・川原湯温泉駅キャンプ場

ビギナーにおすすめ

手ぶらでキャンプやバーベキューが楽しめる

・川原湯温泉王湯会館

生まれ変わった伝統の共同浴場

木漏れ日が差し込む露天風呂からダム湖を望む

(オプション)

②湯ったり草津コース

(ハッ場ダムの流域(吾妻川)を上流に辿っていくとそこには草津温泉)

【コメント】

■まずは '世界初' 「中和事業」を知る

吾妻川はかつて、強い酸性の水が流れるために魚も棲めない「死の川」と呼ばれていました。そして、鉄やコンクリートを使った建造物が作れない、河川水が農業に適さないなど人間の生活にも多くの負担を強いていました。そこで、吾妻川に流入する酸性河川のひとつである湯川の水を中和して、川を甦らせようという取り組みが始まったのです。とめることのできない事業に適した中和材料を見つけることや、中和生成物をどう処理するかなど、たくさん問題をひとつひとつ解決していったすえ、昭和 39 年に世界で初めての酸性河川中和事業がスタートしました。

その中和方法は、草津中和工場で湯川に石灰石粉を投入し、その先に建設された品木ダムに流れ入るまでに徐々に進んでいくという仕組みです。

現在、吾妻川には魚などの生物が棲むようになり、下流の人々も中和された河川の水の恵みを受けて生活しています。そして、草津中和工場はこれからも 24 時間 365 日、湯川の中和を行っていきます。



国土交通省品木ダム水質管理所 HP

<https://www.ktr.mlit.go.jp/sinaki/index.htm>

(2) いよいよ草津温泉 のんびり疲れを癒す 

(オプション)
フォトブックのお土産

旅の活動をまとめた写真とともに、「水」に関する情報や地域の情報なども入れたフォトブックを作成、後日送付する。
思い出とともに記憶に残していただく。



(イメージ)